

酪農の仕事 I

搾乳(乳しぼり)

この牧場では、朝は6時くらい搾乳が始まり、夕方6時から行います。



パーラー(搾乳室)で一度に8頭が搾れます。40頭の搾乳時間は約1時間。

時間になると牛が順番に入ってきて、搾乳器で搾ります。

搾った乳はバルククーラーで冷やします。4℃



2日に一回集乳車がやってきます。

専用のトラックで牛乳工場へ出荷されます。



牛舎のお掃除

牛が搾乳している間に掃除



ショベルローダーで通路をきれいに!



牛たちのベット。毎日整えます。

運び出した糞尿は大きな攪拌機に入れてノコズと混ぜ、長期間堆積発酵させて、良質たい肥になります。



酪農の仕事Ⅱ

エサやり



この牧場では、配合飼料や乾草、サイレージを混ぜて(TMR方式)、搾乳牛に与える。

水田を活用して、牧草を作り、サイレージで保存。稲わらも利用

TMRはトラクターの動力を使いミキサーで混ぜる。



そのまま、牛の前まで運ぶことができる。



乾乳牛(分娩前で乳は出していない)は草主体のエサを与える。



いろいろ

他にもたくさんの仕事がある。



乳牛はたくさんの水を飲む。水槽の掃除も大切。



お父さん牛の遺伝子は、ストローの中。-196度の「液体窒素」が入ったボンベの中で大切に保管される。

授精をして、受胎したら約285日で分娩。全ての牛の繁殖状況がわかるボード。

